

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもコミュニティルーム たいよう		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度 27 こどもは安心感をもって通所していますか。 28 こどもは通所を楽しみにしていますか。 29 事業所の支援に満足していますか。	利用児童が安心して通える場所、楽しく過ごせる場所として認識してもらえるよう、個々に好きなことがなんであるのかを把握し、日々の対応に努めている。	個々の要望に適宜対応できるよう、利用児童とのコミュニケーションを大切に日々のサポートを進めていく。
2	多職種(看護師・保育士・介護福祉士・児童指導員・理学療法士)が利用児童のサポートに携わっている点。	いろんな視点から利用児童が抱える課題を観察・分析し、スタッフ間での情報共有に取り組んでいる。	サポートに関連する研修会等へ積極的に参加し、新しい視点を取り入れながら日々のサポートを進めていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各項目においてどちらともいえない・分からないの回答が多く見受けられた点。	普段のサポート状況や施設内・外での取組に関して、情報発信、情報共有がうまくできていないことが要因と考える。	どちらともいえない・分からないといった回答が多く見受けられた点に関して、施設内掲示、ホームページ・SNS等での情報更新を積極的に行い、施設内・外での活動の様子を見ていただけるよう、取組を進めていく。
2			
3			